

補助金・交付金チェックシート(No.1)

補助金名 (交付金名)	函館の街をきれいにする市民運動協議会補助金	開始 年 度	平成18年度
団 体 名	函館の街をきれいにする市民運動協議会	団体等 の状況	☐ 課税事業者 ☒ 免税事業者
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市補助金等交付規則 函館の街をきれいにする市民運動協議会運営費補助金交付要綱		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	函館の街をきれいにする市民運動協議会は、市内の町会・自治会、老人クラブ関連、学校教育関連等を構成団体（令和6年4月現在443団体）とし、市補助金と事業所等からの賛助金により運営され、行政と連携を図りながら、環境美化活動、ごみの減量活動、環境情報の広報および地域の清掃美化活動の功労者の顕彰などの事業を実施している。
目 的	（目 的） 函館の街をきれいにするため、ごみのポイ捨てを防止し、大事な資源をごみにしない、捨てない意識の定着を図り、環境美化とごみの減量を促進することを目的とする。
・ 効 果	（効 果） 本市の環境美化とごみ減量が図られ、函館市環境基本計画（第3次計画）の基本目標である「循環型社会の形成」、「自然との共生社会の実現」に寄与するものである。

○補助事業の収支状況 ※上段:補助事業等に要する経費 [下段]:補助対象経費 (単位:千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	賛助金	繰越金	諸収入	計
		市	その他					
収 入	R元	297 [297]	— —	— —	2,059 [2,059]	9 [9]	1 [1]	2,366 [2,366]
	R2	295 [295]	— —	— —	1,402 [1,402]	8 [8]	3 [3]	1,708 [1,708]
	R3	280 [280]	— —	— —	1,372 [1,372]	8 [8]	3 [3]	1,663 [1,663]
	R4	280 [280]	— —	— —	1,460 [1,299]	6 []	0 []	1,746 [1,579]
	R5	280 [280]	— —	— —	1,490 [1,309]	6 []	0 []	1,776 [1,589]
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	繰越金			計
	R元	609 [609]	82 [82]	1,666 [1,666]	8 []			2,365 [2,357]
	R2	677 [677]	40 [40]	981 [981]	8 []			1,706 [1,698]
	R3	527 [527]	69 [69]	1,061 [1,061]	6 []			1,663 [1,657]
	R4	— —	160 []	1,580 [1,580]	6 []			1,746 [1,580]
	R5	— —	180 []	1,590 [1,590]	6 []			1,776 [1,590]

補助金・交付金チェックシート(No.2)

補助金名 (交付金名)	函館の街をきれいにする市民運動協議会補助金
----------------	-----------------------

○基本的視点の再チェック

基 本 的 視 点		適	不適	説 明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	函館の街をきれいにするため、ごみのポイ捨てを防止し、大事な資源をごみにしない、捨てない意識の定着を図り、環境美化とごみの減量を推進する事業である。
2	必要性（補助しなければならない事業であるか）	☒	☐	函館市環境基本計画のめざす環境像を実現するために必要である。
3	自主性（自主自立に向け努力しているか）	☒	☐	市補助金のほかに、事業所等から賛助金を集めている。
4	有効性（他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か）	☒	☐	市補助金および事業所等からの賛助金により運営され、官民一体となって「きれいな街づくり」に取り組む必要がある。

○財政的視点のチェック

財 政 的 視 点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☐	
4	補助割合は、補助対象経費の1／2以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☐	
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館の街をきれいにする市民運動協議会補助金
----------------	-----------------------

○補助効果の検証

(効果測定方法、具体的な数値等) 構成団体は、毎年環境美化活動に参加しており、令和5年度活動として、春・秋のクリーン作戦に延べ314団体、10,064人の参加実績があった。 また、ごみの減量活動の集団資源回収は、令和5年では401団体が、6,432tの資源回収の実績があった。 生ごみ減量化推進事業のダンボールコンポスト・メイトには125人、バッグ型コンポストには30人の登録があった。
(達成状況) 当協議会のこれまでの活動により、市内のポイ捨てごみが一掃され、きれいな街づくりが図られるとともに、集団資源回収やダンボールコンポストやバッグ型コンポストの普及により、ごみの減量化が図られている。



(評価) 十分効果をあげている ☐ 一定の効果をあげている ☒ 効果が疑問である ☐ その他 ☐	(理由) 市民の環境意識が高まり、本市におけるリサイクルおよび環境美化の推進に一定の効果をあげている。
--	---

○今後の方向性

☒ 現行のまま補助を継続 ☐ 見直したうえで補助を継続 ☐ 廃止 ☐ その他	(見直しの内容) (見直しの時期)
(廃止の理由) (廃止の時期)	(その他の内容)

○終期の設定

終期設定	☐ 終期到来により廃止 ☒ 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
令和8年度		令和8年度